

2017(平成29)年度 予算のあらまし

2017(平成29)年度予算が3月22日の市議会において可決されました。

予算規模は、一般会計が1,527億8,400万円、特別会計が1,326億6,133万円、予算総額は2,854億4,533万円となっています。骨格予算であった前年度の当初予算と比べ、110.4%、103.7%、107.2%となっています。

なお予算書は市民相談情報課、各市民センター・公民館・市民図書館でご覧になれます。また、市のホームページの財政課のページでもご覧になれます。

問い合わせ 財政課☎内線2302、☎(50)8405

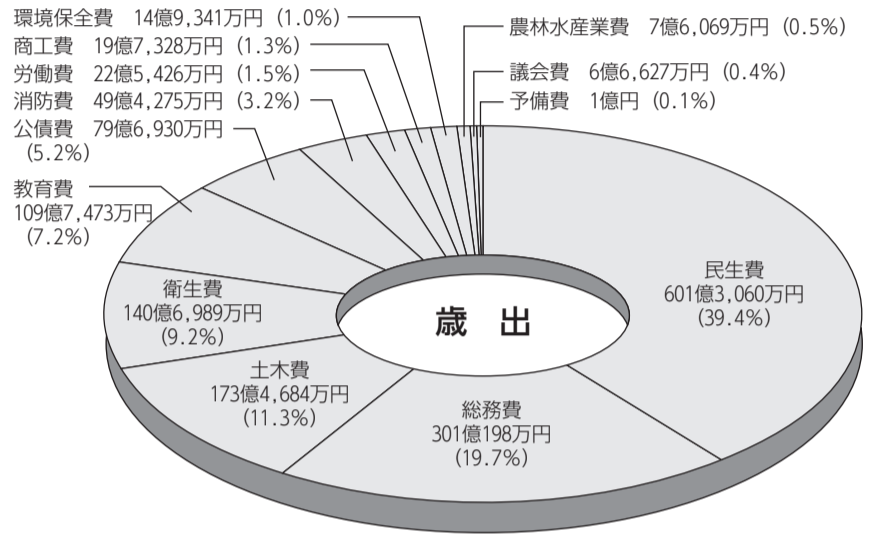
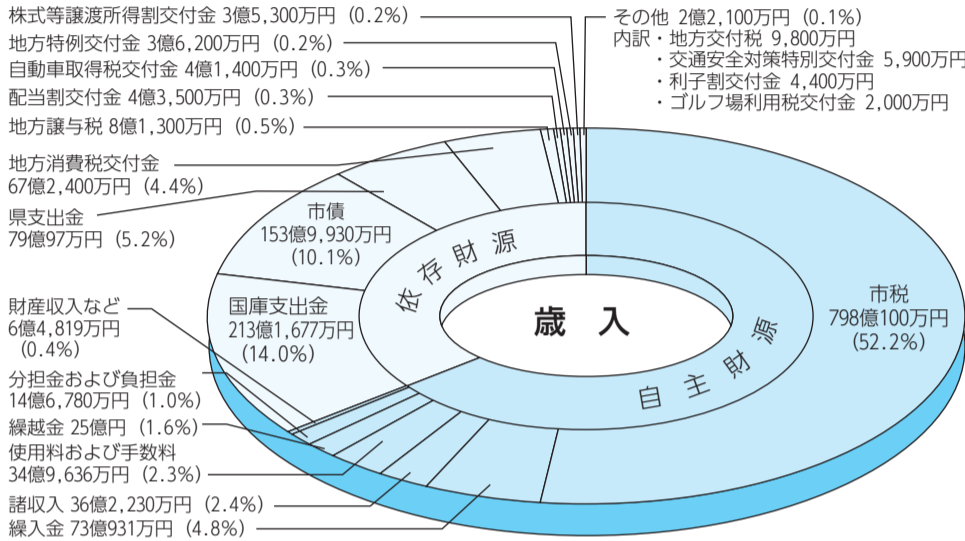
予算の規模

一般会計	1,527億8,400万円
特別会計	1,326億6,133万円
合計	2,854億4,533万円

一般会計

1,527億8,400万円

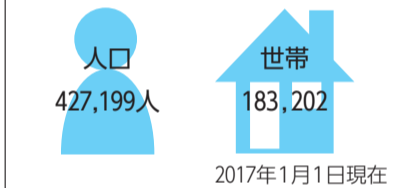
〔自主財源 988億4,496万円(64.7%)
依存財源 539億3,904万円(35.3%)〕



※特別会計は、裏面に掲載しています

予算の使い道を見てください

資料の基準



議会費
1人当たり…1,560円
1世帯当たり…3,637円
●市議会の運営

教育費
1人当たり…25,690円
1世帯当たり…59,905円
●小・中学校、公民館、図書館、スポーツ施設の運営
●学校給食の運営

総務費
1人当たり…70,463円
1世帯当たり…164,310円
●庁舎、市民センター、市民会館などの運営・整備
●広報、税務、戸籍事務
●防災対策

衛生費
1人当たり…32,935円
1世帯当たり…76,800円
●健康増進、公衆衛生
●保健所の運営
●ごみの収集・処理

商工費
1人当たり…4,619円
1世帯当たり…10,771円
●中小企業、商店街の振興
●観光客誘客のための宣伝、観光施設運営

公債費
1人当たり…18,655円
1世帯当たり…43,500円
●銀行などへの借入金に対する返済金

環境保全費
1人当たり…3,496円
1世帯当たり…8,152円
●緑地の保全
●水質汚濁など公害防止
●交通安全活動、防犯対策

労働費
1人当たり…5,277円
1世帯当たり…12,305円
●労働会館の整備
●就労支援事業

土木費
1人当たり…40,606円
1世帯当たり…94,687円
●市営住宅、公園、道路、橋りょう、河川の整備・維持

その他
1人当たり…234円
1世帯当たり…546円

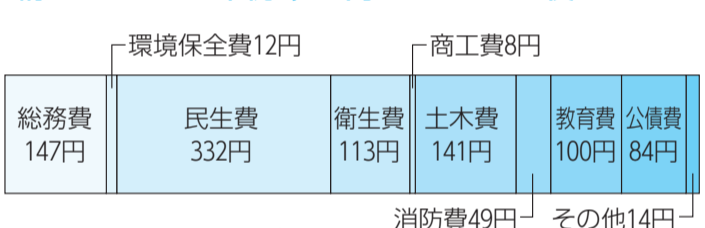
民生費
1人当たり…140,755円
1世帯当たり…328,220円
●高齢者・障がい者などの福祉・医療の充実●保育園の運営・整備●小児医療

農林水産業費
1人当たり…1,781円
1世帯当たり…4,152円
●農業・水産業の振興
●産地消の推進

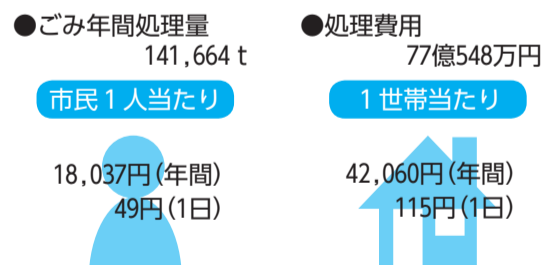
消防費
1人当たり…11,570円
1世帯当たり…26,980円
●消防・救急のための運営、施設整備

合計
1人当たり…357,641円
1世帯当たり…833,965円
県下16市平均(横浜・川崎・相模原市を除く)
1人当たり…333,655円
1世帯当たり…799,315円

市税1,000円当たりの使い道



ごみの処理対策にいくら掛かる？



市民負担および収入の状況 (一般会計)

項目	1人当たり(円)	1世帯当たり(円)
自主財源		
市税	186,801	435,590
その他	44,578	103,951
依存財源		
国庫支出金	49,899	116,357
県支出金	18,495	43,127
市債	36,047	84,056
その他	21,821	50,884
合計	357,641	833,965

事業所税の使い道

道路維持費	6億8,850万円
土地区画整理費	4億 420万円
塵芥(じんがい)処理費	2億1,487万円
小学校費・学校建設費	1億6,692万円
道路新設改良費	1億4,648万円
橋りょう維持費	1億1,478万円
都市計画総務費	1億 140万円
中学校費・学校建設費	9,180万円
下水道費	9,123万円
体育施設費	7,586万円
老人福祉費	6,318万円
学校給食管理費	6,224万円
墓地火葬場費	5,538万円
児童保育費	2,967万円
公園費	1,597万円
街路事業費	312万円
合計	23億2,560万円

都市計画税の使い道

下水道費	32億1,808万円
土地区画整理費	16億 879万円
公債費	10億6,635万円
公園費	4,280万円
街路事業費	1,558万円
合計	59億5,160万円

市税の状況 (一般会計)

項目	予算額
市税	798億 100万円
市民税	367億2,360万円
固定資産税	319億 360万円
都市計画税	59億5,160万円
市たばこ税	24億1,470万円
事業所税	23億2,560万円
軽自動車税	4億5,370万円
入湯税	2,640万円
特別土地保有税	180万円

入湯税の使い道

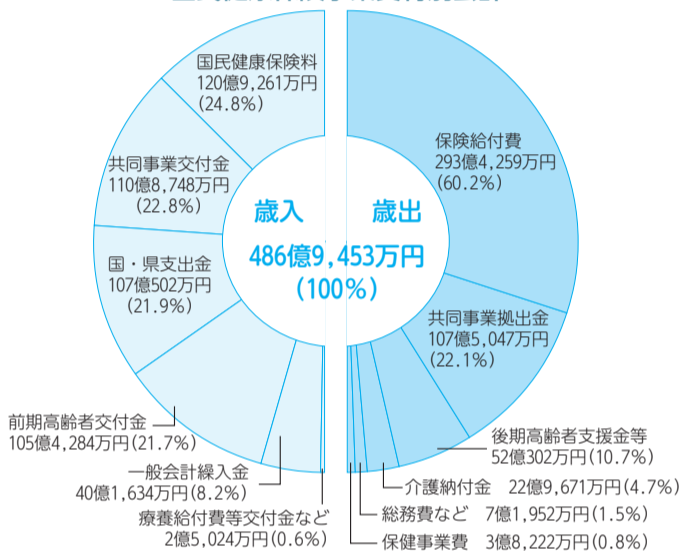
観光振興費	2,640万円
-------	---------

特別会計

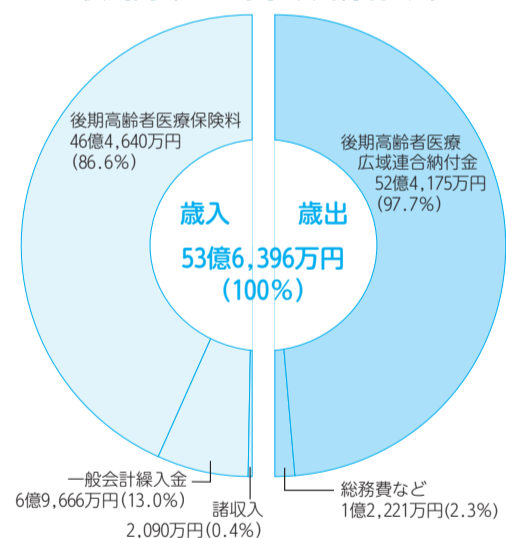
市の予算には、一般会計のほかに9の特別会計があります。下水道や病院などの事業は、特定の料金収入によって運営しています。この場合、一般会計と区別した特別会計のもとに予算を作り、それぞれ独立して事業を実施しています。

特別会計	国民健康保険事業費	486億9,453万円
	後期高齢者医療事業費	53億6,396万円
	介護保険事業費	280億2,387万円
	下水道事業費(公営企業会計)	216億7,563万円
	市民病院事業(公営企業会計)	236億1,011万円
	北部第二(三地区)土地区画整理事業費	36億7,651万円
	柄沢特定土地区画整理事業費	5億7,295万円
	墓園事業費	9億7,722万円
	湘南台駐車場事業費	6,655万円

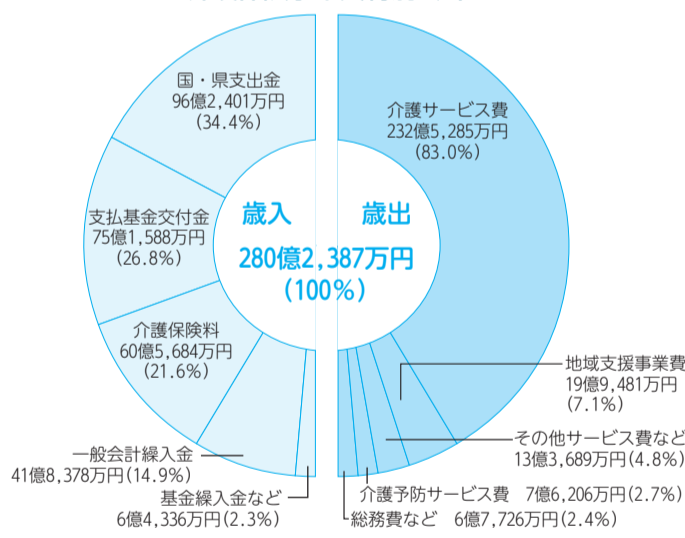
国民健康保険事業費特別会計



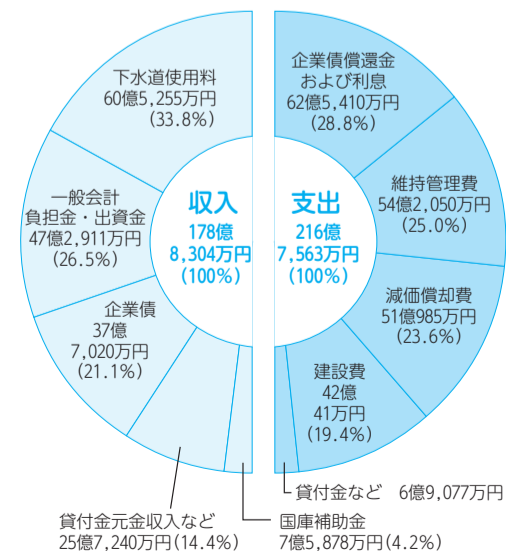
後期高齢者医療事業費特別会計



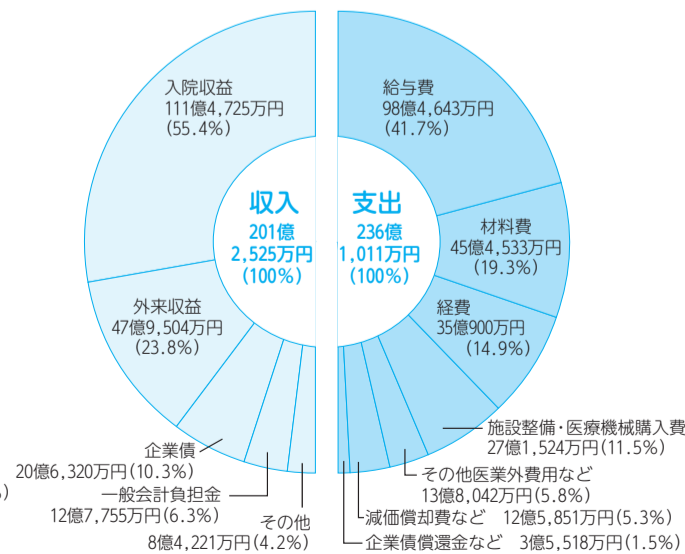
介護保険事業費特別会計



下水道事業費特別会計(公営企業会計)



市民病院事業会計(公営企業会計)



土地区画整理事業

快適に暮らせるまちづくりのための土地区画整理事業には北部第二(三地区)、柄沢特定土地区画整理事業の2会計があります。

○北部第二(三地区)土地区画整理事業

湘南台駅の北西約1.5kmに位置する面積275.2haの区域整備です(歳出総額36億7,651万円)

○柄沢特定土地区画整理事業

藤沢駅の北東約2kmに位置する面積49.6haの区域整備です(歳出総額5億7,295万円)

その他の特別会計

○墓園事業

豊かな緑に囲まれた都市公園機能と心安まる墓地環境を兼ね備えた大庭台墓園を運営するために設置された特別会計です(歳出総額9億7,722万円)

○湘南台駐車場事業

湘南台駅地下自動車駐車場整備のために借り入れた駐車場整備事業債の償還を行うために設置された特別会計です(歳出総額6,655万円)

※地方公営企業法が適用される会計として、下水道事業と市民病院事業の2つがあります。この公営企業会計では施設整備などの財源として、グラフに示した収入以外に減価償却などに伴い発生した資金を充てています